

人間科学科について知りたい方のための

## フリーペーパー『らいふみる』

2024 年 6 月 23 日発行

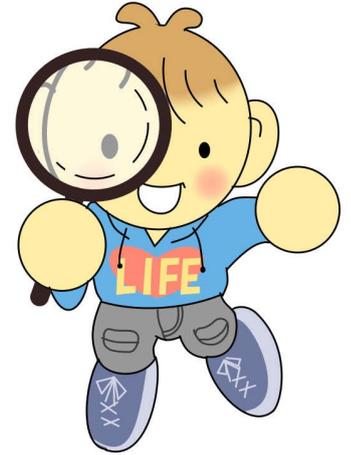
## 【人間科学科はこんな方にオススメ】

人間科学科は広く「人間」に関わる事象について科学的に学ぶことのできる学科となっていますが、特に次のような方にオススメです。

第一に、人間科学科では「人間」に対して科学的に（心理学・社会学・身体科学・情報学の観点から）アプローチします。そのため、身近な人びと、もしくは、異なる文化・価値観をもつ人びとの生活や人生に関心を抱かれている方にオススメです。

第二に、人間科学科では心理学的・身体科学的な実験や社会学的な調査を行うことを通して「人間」に対してアプローチします。そのため、「人間」の心理・身体・社会を理解するための実験や調査を自分でも行ってみたいという方にオススメです。

第三に、人間科学科では「人間」が作りだした社会のさまざまな現象に対してアプローチします。そのため、家族・学校・職場・地域などで生じる問題や文化・環境・メディアなどのあり方について深く考えてみたいという方にオススメです。



学科キャラクター『らいふみる』くん

## 【人間科学科によくある質問】

【大正大学には心理学を学べる学科がほかにもあるようですが、どのような違いがありますか？】

心理学という学問分野にはさまざまな領域があるため、同じように心理学を学べる他大学や他学科と人間科学科では授業内容や取得できる資格が異なります。人間科学科では特に、「人間」の「Life（生活・生命・人生）」をテーマとして心理学の授業がつくられています。具体的にどのようなことを学ぶことができるのか、そしてそれは他大学や他学科での学びとどのように異なっているのかについては、次のページに記されている人間科学科のシラバスを見ていただきたいと思います。また、人間科学科で取得できる資格については、『らいふみる』の第1号で解説しています。

【大正大学には社会学を学べる学科がほかにもあるようですが、どのような違いがありますか？】

心理学と同様に、社会学もさまざまな領域を持つ学問分野であるため、同じように社会学やより広く社会について学べる他大学や他学科と人間科学科では授業内容や取得できる資格が異なります。人間科学科は特に、「人間」の「Life（生活・生命・人生）」をテーマに社会学・心理学・身体科学、そして情報学の一部も同時に学ぶことができる点や必要な単位を修得すれば社会学系の資格と心理学系の資格をどちらも取得することができる点などが特徴的であると言えます。社会学の理論や社会調査関連の科目も充実しており、他学科よりも深く社会学を学ぶことができます。

【私は社会や数学が苦手なのですが、人間科学科の授業についていけますか？】

人間科学科には社会について学ぶ授業が複数ありますが、中学校や高等学校の社会科・地理歴史科・公民科のように人名や用語を暗記することが中心となる授業はありません。そのため、社会に対する関心を持っていれば、社会が苦手な方でも面白さを感じながら授業に参加することができます。また、人間科学科には統計について取り上げる授業が複数ありますので、数学が得意な方はその強みを発揮することができますが、数学が苦手な方にも分かるようにカリキュラムがつけられています。そのため、4年間の学びを通して統計的なものの見方や考え方を身につけることができます。

【今後もし人間科学科について質問がある場合は、どうすればよいのですか？】

下記の連絡先（大学代表）にお電話いただき、まずは「大正大学アドミッションセンター」の担当者に質問してください。また、もし学科に直接質問をしたいという場合は、電話でそのようにお申し出ください。

\* 連絡先電話番号：03-3918-7311（大学代表） 受付時間：平日 9:00-18:00（長期休暇期間等は9:00-17:00）

## 【人間科学科のシラバスを検索してみよう】

—人間科学科ではどのような授業が行われているのでしょうか？—

大学の授業の内容を詳しく理解するうえで役立つのが、授業計画を示したシラバスという資料です。学生は履修する授業の選択や毎回の授業の予習復習のためにシラバスを活用しています。大正大学では学外の方もシラバスに記載された情報をすべてみることができます。その方法を解説します。

大正大学ポータルサイト T-Po (<https://t-po-web.tais.ac.jp/campusweb/>) にアクセスするか右に示した QR コードを読み取ると「Taisho Portal」の画面となります。ページ下部の「ゲストユーザーはこちらよりシラバス参照をご利用いただけます。」をクリックすると、右下の図のようにシラバス検索画面が表示されます。

その画面でまずキャンパスを「巣鴨キャンパス」に設定し、それから時間割所属を「学部共通」に設定すると、開講科目名や教員名でシラバスを検索することができるようになります。

シラバスを検索してみましょう。例えば、「開講科目名」の欄に次のページに掲載されている授業の科目名のいずれかを入力して「検索開始」をクリックすると検索結果が表示されますので、「参照」をクリックするとその授業のシラバスが表示されます。また、「詳細情報」をクリックすると「テーマ」や「授業の目的」、各回の授業の詳細を見ることができます。

次のページには人間科学科の専門部門の講義科目である「人間発達科目（A群）」と「現代社会生活科目（B群）」の一覧を掲載しました。気になる授業のテーマについて確認し、興味をもった授業についてはぜひシラバスを閲覧してみてください。



## 【授業紹介：感情心理学】

おそらく誰もが経験し、知っているものの、説明したり整理したりするのは案外難しい。感情については、そんなイメージを持つ方も多いのではないのでしょうか。「感情心理学」では、この難題に心理学が挑んできた経緯を振り返りながら、その足掛かりを整理していくことを大きな目標にしています。折々、教室でも可能なデモ等も使いながら進めています。たとえば、そのときのポジティブ感情とネガティブ感情の強度の測定があります。この質問紙の背景には、実は、感情のとらえ方に関する先人のアイデアが潜んでいます。別の言い方をすると、これとは異なる考え方を足掛かりにすることで、感情の異なる側面にスポットがあたった別の測定方法ができあがります。感情のとらえ方が様々あるのは、それだけ感情が多面的な現象であることの裏返しとも言えます。既存の考えや研究をもとに、感情現象をとらえる実践的方法を理解しつつ、その問題点や発展形について意見交換しあうことも重視しています。

## 【授業紹介：現代社会論】

みなさんは、憲法など法律の内容を細かに頭に入れていませんか。おそらく、多くの人はそうではないでしょう。にもかかわらず、それほど不自由なく生活できているような状況は、それはそれで法によって成り立っている社会の秩序と言えます。もし、法律のことが気になって仕方がないという社会だったら、それはあまり健全ではないかも？しかし、そうした社会秩序がひっくり返るようなことは世界史上にありました。いや、今日でも、たとえば差別的な境遇のなかで法に守られていない人々もいます。現代社会論の授業は、このような法律、特に憲法や人権によって成り立つ秩序が、どういうときに壊れてしまうのかということテーマにしており、毎回関連するトピックごとに学修することができます。たとえば、移民、難民、暴力、紛争、AI（人工知能）、SNSの誹謗中傷、等々。SNSの誹謗中傷はどうやって生じるの？日本で人権侵害を伴うような残虐な暴力なんてない？ある？「秩序が壊れる」、実は身近なテーマなのかも…。

## 〔人間科学科の講義系授業：人間発達科目（A群）と現代社会生活科目（B群）〕

人間科学科の専門部門の講義科目は、「人間発達科目（A群）」と「現代社会生活科目（B群）」という2つの科目群に分かれています。2024年度に各科目群で開講されている授業の科目名・担当者・テーマは下記の通りとなっています。

### ・人間発達科目（A群）

科目名	担当者	テーマ
生命科学	石 龍徳	生命とは何か、ヒトとは何かを生命科学の視点から考える
身体活動の科学	内田 英二	運動や身体活動による身体諸機能の変化について
発育発達と運動	内田 英二	現代社会における子どもおよび中高年者の発育発達の状況と運動の関連について
脳と心	荒生 弘史	脳をはじめとする生物学的構造や過程と、心のはたらきとの対応関係をとらえる
基礎心理学	岡部 聡美	心理学の基礎を学ぶ
心の認知科学	井関 龍太	記憶や思考などの人間の認知メカニズムについて学ぶことを通し、実証的な考え方を身につける
認知社会心理学	井関 龍太	社会的情報や対人相互作用における人間の認知メカニズムについて学ぶことを通して実証的な考え方を身につける
感情心理学	荒生 弘史	感情の働きと人間行動の関係について理解する
生涯発達心理学	長谷川 智子	受胎から死に至るまでの発達心理学
親と子の発達心理学	長谷川 智子	現代社会における親と子に関する諸問題・課題について考える
生と死の社会学	木村 豊	現代社会を生きる「個人」の〈生〉と〈死〉について考える
ライフコースの社会学	澤口 恵一	現代社会における人生の変化と社会変動との関係を理解する
健康心理学	塚田 知香	ストレスの基礎知識とセルフケア
人間発達特講 A	畑山 直子	諸個人の移動経験を生活史から読み解く
人間発達特講 B (青年期とアイデンティティ)	天野 陽一	青年期とはどのような時期なのか実証研究の知見をもとに考え、人間の発達についての理解を深める

### ・現代社会生活科目（B群）

科目名	担当者	テーマ
社会心理学	谷田 林士	社会的環境への適応という観点から私たちのこころの働きを理解する
コミュニケーションの心理学	谷田 林士	対人技法を習得しながら、コミュニケーション能力を向上させる
ジェンダーの社会学	関根 里奈子	ジェンダー、家族、労働、セクシュアリティ、女性学・男性学
現代社会論	河合 恭平	社会秩序はいかなるときに崩壊に向かうのか
親密圏と家族の社会学	澤口 恵一	家族とは何か、家族という集団の現代的課題について考える
生活環境の社会学	荒川 康	人間の暮らしと環境問題
都市と地域の社会学	荒川 康	日本の都市と地域の今を考える
職場の社会学	井出 裕久	日本の会社で働く
仕事の社会学	井出 裕久	「働き方の多様化」と働くことの意味——過労死・働きすぎ、女性労働
文化の社会学	木村 豊	多様な文化と共に生きる社会について考える
情報と社会	今村 成夫	情報社会とはどんな社会かを考察する
出版文化論	今村 成夫	2024年度非開講
社会問題の社会学	畑山 直子	現代社会の「問題」に社会学の視点からアプローチする
現代社会生活特講 A (メディアと社会)	伊奈 正人	情報化と現代生活
現代社会生活特講 B (コミュニケーション論)	関根 里奈子	コミュニケーション メディア 文化 ジェンダー 社会学

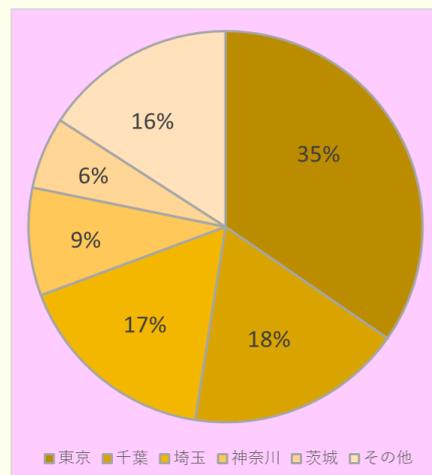
## 【人間科学科の学生— 2024 年度新入生へのアンケートから】

—人間科学科ではどのような学生が学ばれているのですか？たとえば、東京都出身の方が多いいのですか？—

人間科学科の学生の男女比は、入学年度によっても異なりますが、この数年間は男性よりも女性のほうが比較的多くなっており、今年度（2024 年度）の新入生は男性が 42%に対して、女性は 58%となっています。

また、人間科学科の学生の出身都道府県は、例年東京が一番多く、以下東京周辺の県が続きます。今年度の新入生が受験時に居住していた都道府県は、東京 35%・千葉 17%・埼玉 17%・神奈川 9%・茨城 6%・その他 16%となっており、その他には少数ながら北海道、秋田、岩手、福岡、愛媛といった地域からの入学生もいます。

そのため、人間科学科は、関東を中心に全国各地からさまざまな学生が集まる学科になっていると言えます。



## 【人間科学科の志望動機— 2023 年度卒業生による『人間科学科での4年間』から】

—どうして人間科学科を選ばれたのですか？— —入学して感じた人間科学科の魅力はどんなところ？—

- もともと人の心理に興味があり、心理学をメインに学べる学部を探していたところ、大正大学を見つけました。初めは「人間科学」という言葉の意味がわからなかったのですが、大学のHPを見てみると「LIFE を複合的にとらえ、現代社会やそこで生きる人間の心理について幅広く学ぶことができます」との説明があり、当時、その内容にすごく惹かれました。（Sさん）
- 就職率が高いこと、社会学・心理学・身体科学の3分野を融合して学べることの面白さ、オープンキャンパスで受けた授業が面白かったことなどいくつか挙げられますが、1番の大きな理由は将来の自分の様々な場面においての選択肢を増やせると感じたからです。高校生のとき、私は児童心理士になりたいと思っていました。しかし、一つの夢ばかりを追って学生生活を過ごすよりも、いろんなことを学んで考え方を広げた方が人生が豊かになるのではないかと、いろんな人たちと出会うことになる4年間でなりたい自分や面白さを感じる部分が変わるのではないかと考えるようになりました。大正大学の人間科学科で社会のしくみやその社会で生きている私たち人間の life を学ぶことで自分の視野を広げたいと思い、大正大学の人間科学を選びました。（Wさん）
- 人間科学科の魅力は、学科の基本コンセプトにもあるように「複眼的に学べること」、これに尽きると思います。私は社会学を勉強したくて人間科学科を選択したので、入学してからは社会学を中心に受講しており、心理学系の授業は、取らなければいけないから取っているというモチベーションでした。なんなら社会学だけでもっと勉強したいとさえ思っていたのですが、考えが変わりました。（Tさん）
- 人間科学科は社会学、心理学、身体科学と幅広い分野に触れることができます。入学後に私のように興味関心に応じてゼミ選びができることが人間科学科最大の魅力です。特に、学びたい学問で迷っている受験生にはおすすめできると思います。（Mさん）

### 【編集後記】

\*『らいふみる』の2024年版の第2号（2024年6月23日発行）を発行いたしました。今回は主に人間科学科によくある質問についてご紹介いたしましたが、今後も『らいふみる』を通して人間科学科のことについていろいろご紹介していきたいと思っておりますので、ぜひご覧いただけたらと思います。

\*『らいふみる』は大正大学人間学部人間科学科について知りたい方のためのフリーペーパーです。本冊子の記事や写真などを無断で複製・転載しないようお願いいたします。また、人間科学科について詳しくは、下記のURLか右記のQRコードから学科のブログをご覧いただきたいと思っております。

（人間科学科ブログ：[https://www.tais.ac.jp/faculty/department/human\\_sciences/blog/](https://www.tais.ac.jp/faculty/department/human_sciences/blog/)）

